



自衛隊栃木地方協力本部

下総航空基地P-3Cフライトシミュレーター体験！ ～海上自衛隊の航空機の魅力を満喫～



概要説明の様子



パイロット（の卵）が操縦訓練をする施設でシミュレーター体験



管制塔見学



地上救難班の装備品見学



耐熱服を試着する参加者



迫力のある放水に歓声上がる



P-3Cの前で記念撮影



資料館見学の様子

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は12月7日（土）、海上自衛隊下総航空基地において募集対象者等6名に対しP-3Cフライトシミュレーター体験ツアーを行った。

当日は、晴天に恵まれ絶好のツアー日和となった。下総航空基地へ到着すると、まず基地の概要説明を受け、下総基地への理解を深めた。続いて、お待ちかねのP-3C航空機フライトシミュレーター体験では、P-3Cの現役パイロットから操作要領のレクチャーを受けながら操作するなど貴重な体験を楽しんだ。体験した高校生は「操縦桿を握るだけでもめちゃくちゃ緊張しました。本当に飛んでみたいですね。もう一度やりたいです」と笑顔で興奮気味に話すなど、普段できない貴重な体験に感動していた様子であった。その後、地上救難班の救難消防車及び管制塔を見学し、救難消防車見学では、迫力のある放水を至近距離で見学すると大きな歓声が上がりました。管制塔見学では、「あの場所は何をするところですか？滑走路は、コンクリートですか？アスファルトですか？」と活発的に質疑応答が行われていた。

その後、飛行場地区の格納庫へ移動し、P-1及びP-3Cの2機種を間近で見学。迫力ある機体を前に、各人思い思いに撮影するなど、海上自衛隊の航空基地の魅力を満喫した一日となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じ募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に邁進していく」としている。